

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和7年度（1 学年用） 教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅠ

教科：外国語 科目：英語コミュニケーションⅠ 単位数：3 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組

使用教科書：（My Way ENGLISH COMMUNICATIONⅠ（三省堂））

教科 外国語 の目標：

- 【知識及び技能】外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅠ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
○英語の4技能外国語の5領域（聞くこと、読むこと、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。	○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。	○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 〔や り〕	話 〔発 言〕					
1 学 期	【知識及び技能】 動詞の時制に関すること、助動詞の用法について理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 理解した内容を自分の言葉で表現し、相手に伝える。紹介したいことわざについて、対話の概要や要点、必要な情報を、ワークシートを参考にしながら捉える。動物写真家である岩合光昭さんの生き方や考え方について、理解して考えを深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 学び得た語彙や表現、情報をもとに表現し、即興で相手に伝えることができる。やりとりの内容を踏まえ、改めて自分の意見を発表したり、書いたりできる。	Lesson1 Proverbs around the World Lesson 2 Iwago Mitsuaki An Animal photographer ①本文の概要と要点を理解させる。 ②新出語句を定着させる。 ・イラストや写真、音声を効果的に活用する。 ・学習の形態（個人、ペア、全体）を工夫する。	○				【知識】動詞の時制、SV0（0=that節）に関する事項を理解している。助動詞 / 受け身 / 助動詞のついた受け身[技能] 世界各地の特徴的なことわざを紹介するレクチャーについて、時制に留意して、時系列で内容を読み取る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現力】 紹介したいことわざについて、対話の概要や要点、必要な情報を、ワークシートを参考にしながら捉えている。動物写真家である岩合光昭さんの生き方や考え方について、理解して考えを深めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 学び得た語彙や表現、情報をもとに表現し、即興で相手に伝えるようとしているやりとりの内容を踏まえ、改めて自分の意見を発表したり、書いた入りしている。	○	○	○	20
	定期考查							○	○		1
	【知識及び技能】 動名詞 / to不定詞の名詞的用法・副詞的用法 / to不定詞の形容詞的用法 / 現在完了形 / 現在完了進行形 / 過去完了形の用法を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 高校生が新しい宇宙食を開発した経緯について、理解して考えを深めることができる。『クマのプーさん』に込められたメッセージについて、理解して考えを深めることができる。【学びに向かう力、人間性等】 学び得た語彙や表現、情報をもとに表現し、即興で相手に伝えることができる。やりとりの内容を踏まえ、改めて自分の意見を発表したり、書いたりできる。	Lesson 3 Sending Canned Mackerel to Space Lesson 4 Messages from Winnie the-Pooh ①本文の概要と要点を理解させる。 ②新出語句を定着させる。 ③文法事項（動名詞、間接疑問文）を理解させる。 ・イラストや写真、音声を効果的に活用する。 ・学習の形態（個人、ペア、全体）を工夫する。	○				【知識及び技能】 動名詞 / to不定詞の名詞的用法・副詞的用法 / to不定詞の形容詞的用法 / 現在完了形 / 現在完了進行形 / 過去完了形を理解しつかうことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 高校生が新しい宇宙食を開発した経緯について、理解して考えを深めることができる。『クマのプーさん』に込められたメッセージについて、理解して考えを深めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 学び得た語彙や表現、情報をもとに表現し、即興で相手に伝えるようとしているやりとりの内容を踏まえ、改めて自分の意見を発表したり、書いた入りしている。	○	○	○	20
	定期考查							○	○		1
	【知識及び技能】 関係代名詞（主格）/関係代名詞（目的格） / 関係代名詞what / It is ... to不定詞 現在分詞の形容詞的用法 / 過去分詞の形容詞的用法 / 分詞構文 / It is ... Thatの用法を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 消滅の危機にある世界の言語について、理解して考えを深めることができる。車いすユーザーである三代達也さ	Lesson 5 Endangered Languages Lesson 6 A Wheelchair Traveler ・新出語句の確認をする。 ・文法事項の確認をする。 ・イラストや写真、音声を効果的に活用する。 ・学習の形態（個人、ペア、全体）を工夫する。	○				【知識及び技能】 動名詞 / to不定詞の名詞的用法・副詞的用法 / to不定詞の形容詞的用法 / 現在完了形 / 現在完了進行形 / 過去完了形を理解しつかうことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 高校生が新しい宇宙食を開発した経緯について、理解して考えを深めることができる。『クマのプーさん』に込めら	○	○	○	20

[illegible]

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅡ

教科： 外国語 科目： 英語コミュニケーションⅡ 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 7 組

使用教科書： （ My Way ENGLISH COMMUNICATION Ⅱ （三省堂） ）

教科 外国語 の目標：

- 【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅡ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
○英語の4技能外国語の5領域（聞くこと、読むこと、話すこと〔やり取り〕、話すこと〔発表〕、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。	○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。	○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
			聞	読	話 〔や 〕	話 〔発 〕						書
1 学 期	【知識及び技能】 形式主語、形式目的語に関する事項を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 理解した内容を自分の言葉で表現し、相手に伝えることができる。また、本文から学んだ「世界のダンス」「落語家 桂三郎」について自分なりに意見を持ち、それを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 学び得た語彙や表現、情報をもとに表現し、即興で相手に伝えることができる。やりとりの内容を踏まえ、改めて自分の意見を発表したり、書いたりできる。	・Lesson1 Dances Around the World ・Lesson2 Katsura Sunshine ①本文の概要と要点を理解させる。 ②新出語句を定着させる。 ③文法事項を理解させる。 ・イラストや写真、音声を効果的に活用する。 ・学習の形態（個人、ペア、全体）を工夫する。 ・一人1台端末の活用 等			○		【知識及び技能】 文法事項関する事項を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 理解した内容を自分の言葉で表現し、相手に伝えることができる。また、本文から学んだ内容について自分意見を持ち、それを英語で表現したり伝え合ったりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 学び得た語彙や表現、情報をもとに表現し、即興で相手に伝えるようとしているやりとりの内容を踏まえ、改めて自分の意見を発表したり、書いた入りしている。		○	○	○	20
	定期考査								○	○		1
	【知識及び技能】 完了形、知覚動詞、使役動詞に関する事項が理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 理解した内容を自分の言葉で表現し、相手に伝えることができる。また、本文から学んだ内容について自分なりに意見を持ち、それを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 学び得た語彙や表現、情報をもとに表現し、即興で相手に伝えることができる。やりとりの内容を踏まえ、改めて自分の意見を発表したり、書いたりできる。	・Lesson3 Living with Nature ・Lesson4 Sesame Street ①本文の概要と要点を理解させる。 ②新出語句を定着させる。 ③文法事項（完了形、知覚動詞、使役動詞）を理解させる。 ・イラストや写真、音声を効果的に活用する。 ・学習の形態（個人、ペア、全体）を工夫する。 ・一人1台端末の活用 等 ・パフォーマンステスト			○		【知識及び技能】 文法事項関する事項を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 理解した内容を自分の言葉で表現し、相手に伝えることができる。また、本文から学んだ内容について自分意見を持ち、それを英語で表現したり伝え合ったりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 学び得た語彙や表現、情報をもとに表現し、即興で相手に伝えるようとしているやりとりの内容を踏まえ、改めて自分の意見を発表したり、書いた入りしている。		○	○	○	20
	定期考査								○	○		1
2	【知識及び技能】 語彙や文法の決まりに関する事項が理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 理解した内容を自分の言葉で表現し、相手に伝えることができる。また、本文から学んだ内容について自分なりに意見を持ち、それを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 学び得た語彙や表現、情報をもとに表現し、即興で相手に伝えることができる。やりとりの内容を踏まえ、改めて自分の意見を発表したり、書いたりできる。	・Lesson5 From Landmines to Herbs ・Lesson6 Murals ・新出語句の確認をする。 ・文法事項の確認をする。 関係詞、助動詞、完了不定詞 ・イラストや写真、音声を効果的に活用する。 ・学習の形態（個人、ペア、全体）を工夫する。 ・一人1台端末の活用 等			○		【知識及び技能】 文法事項関する事項を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 理解した内容を自分の言葉で表現し、相手に伝えることができる。また、本文から学んだ内容について自分意見を持ち、それを英語で表現したり伝え合ったりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 学び得た語彙や表現、情報をもとに表現し、即興で相手に伝えるようとしているやりとりの内容を踏まえ、改めて自分の意見を発表したり、書いた入りしている。		○	○	○	20
	定期考査								○	○		1

2 学期	【知識及び技能】 語彙や文法の決まりに関する事項が理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 理解した内容を自分の言葉で表現し、相手に伝えることができる。また、本文から学んだ内容について自分なりに意見を持ち、それを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 学び得た語彙や表現、情報をもとに表現し、即興で相手に伝えることができる。やりとりの内容を踏まえ、改めて自分の意見を発表したり、書いたりできる。	・Lesson7 “‘Englishes’” in the World ・Lesson8 Deepika Kurup ①本文の概要と要点を理解させる。 ②新出語句を定着させる。 ③文法事項（分詞構文、仮定法）を理解させる。 ・イラストや写真、音声を効果的に活用する。 ・学習の形態（個人、ペア、全体）を工夫する。 ・一人1台端末の活用 等 ・パフォーマンステスト					【知識及び技能】 文法事項に関する事項を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 理解した内容を自分の言葉で表現し、相手に伝えることができる。また、本文から学んだ内容について自分意見を持ち、それを英語で表現したり伝え合ったりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 学び得た語彙や表現、情報をもとに表現し、即興で相手に伝えるようとしているやりとりの内容を踏まえ、改めて自分の意見を発表したり、書いた入りしている。	○	○	○	20
	定期考査							○	○		1
3 学期	【知識及び技能】 語彙や文法の決まりに関する事項が理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 理解した内容を自分の言葉で表現し、相手に伝えることができる。また、本文から学んだ内容について自分なりに意見を持ち、それを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 学び得た語彙や表現、情報をもとに表現し、即興で相手に伝えることができる。やりとりの内容を踏まえ、改めて自分の意見を発表したり、書いたりできる。	・Lesson9 The World’s Poorest President ・Lesson10 Living in an E-Society ①本文の概要と要点を理解させる。 ②新出語句を定着させる。 ③文法事項（同格、強調構文、倒置、省略）を理解させる。 ・イラストや写真、音声を効果的に活用する。 ・学習の形態（個人、ペア、全体）を工夫する。 ・一人1台端末の活用 等 ・パフォーマンステスト				○	【知識及び技能】 文法事項に関する事項を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 理解した内容を自分の言葉で表現し、相手に伝えることができる。また、本文から学んだ内容について自分意見を持ち、それを英語で表現したり伝え合ったりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 学び得た語彙や表現、情報をもとに表現し、即興で相手に伝えるようとしているやりとりの内容を踏まえ、改めて自分の意見を発表したり、書いた入りしている。	○	○		20
	定期考査							○	○		1 合計 105

高等学校 令和7年度（3学年用）		教科	外国語	科目	英語コミュニケーションⅢ
教科：	外国語	科目：	英語コミュニケーションⅢ	単位数：	4 単位
対象学年組：	第 3 学年	1 組～	7 組		
教科担当者：					
使用教科書：	（ MY WAY English CommunicationⅢ （三省堂） ）				
教科	外国語	の目標：			

- 【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅢ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
○英語の4技能外国語の5領域（聞くこと、読むこと、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。	○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。	○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 〔や〕	話 〔発〕	書					
1 学 期	A 単元 【知識及び技能】 異文化・食について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 理解した内容を自分の言葉で表現し、相手に伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 本文の内容を自分なりに理解して、リテリングしようと努める。	○指導事項 ・ Lesson1 Priceless Café, Priceless Community ①本文概要と要点を理解させる。 ②新出語句を定着させる。 ・ イラストや写真、音声の効果的に活用する。 ・ 学習の形態（個人、ペア、全体）を工夫する。	○					【知識・技能】 文章を読み取るために必要な語彙や表現を理解している。 文章を読み取る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 文章を読んで、文章の展開、概要や要点などを捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 文章を読んで、文章の展開、概要や要点などを捉えようとしている。	○	○	○	20
	B単元 【知識及び技能】 科学について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 理解した内容を自分の言葉で表現し、相手に伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 本文の内容を自分なりに理解して、リテリングしようと努める。	○指導事項 ・ Lesson 2 Nihonium ①本文概要と要点を理解させる。 ②新出語句を定着させる。 ・ イラストや写真、音声の効果的に活用する。 ・ 学習の形態（個人、ペア、全体）を工夫する。		○				【知識・技能】 文章を読み取るために必要な語彙や表現を理解している。 文章を読み取る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 文章を読んで、文章の展開、概要や要点などを捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 文章を読んで、文章の展開、概要や要点などを捉えようとしている。	○	○	○	20
	定期考査								○	○		1
	C 単元 【知識及び技能】 比較文化・食べ物について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 理解した内容を自分の言葉で表現し、相手に伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 本文の内容を自分なりに理解して、リテリングしようと努める。	○指導事項 ・ Lesson 3 Tea in Desert Climates ①本文概要と要点を理解させる。 ②新出語句を定着させる。 ・ イラストや写真、音声の効果的に活用する。 ・ 学習の形態（個人、ペア、全体）を工夫する。			○			【知識・技能】 文章を読み取るために必要な語彙や表現を理解している。 文章を読み取る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 文章を読んで、文章の展開、概要や要点などを捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 文章を読んで、文章の展開、概要や要点などを捉えようとしている。	○	○	○	20
	D 単元 【知識及び技能】 伝統文化・言語歴史について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 理解した内容を自分の言葉で表現し、相手に伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 本文の内容を自分なりに理解して、リテリングしようと努める。	○指導事項 ・ Lesson 4 The Benefits of Origami ①本文概要と要点を理解させる。 ②新出語句を定着させる。 ・ イラストや写真、音声の効果的に活用する。 ・ 学習の形態（個人、ペア、全体）を工夫する。 ・ Lesson 5 The Mysteries of English Spelling ①本文概要と要点を理解させる。 ②新出語句を定着させる。 ・ イラストや写真、音声の効果的に活用する。 ・ 学習の形態（個人、ペア、全体）を工夫する。				○		【知識・技能】 文章を読み取るために必要な語彙や表現を理解している。 文章を読み取る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 文章を読んで、文章の展開、概要や要点などを捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 文章を読んで、文章の展開、概要や要点などを捉えようとしている。	○	○	○	20
	定期考査								○	○		1

[illegible]

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科

教科：外国語

科目：論理表現Ⅰ

外国語

科目 論理・表現Ⅰ

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～

7組

教科担当者：

使用教科書：（MYWAY English Logic and Expression I(三省堂）、及びVisionQuest EL&E ワークブック

）

教科 外国語

の目標：

【知識及び技能】

外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 論理・表現Ⅰ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
○日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合ったり、やり取りを通して必要な情報を得たりすることができる。 ○日常的な話題や社会的な話題について、必要な背景知識・語彙・表現を用いて自分の考えを述べる技能を身に付けることができる。 ○日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができる。	○日常的な話題や社会的な話題について、英語を聞いたり読んだりして得られた情報や考えなどを活用しながら、話したり書いたりして情報や自分自身の考えなどを適切に表現することができる。 ○学校外での生活や地域社会などの日常的な話題について、自分のことを伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。また、その内容について整理し、クラスで発表することができる。	○自分の意見を、相手によりよく理解してもらえるように、日常的な話題や社会的な話題について、自分の考えを理由とともに伝えたり、相手からの質問に答えたりしようと積極的に取り組むことができる。 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようと積極的に取り組むことができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			話すこと (やりとり)	話すこと (発表)	書くこと	聞くこと	読むこと					
1 学 期	【知識及び技能】 ・文型と動詞：5つの文型と<There +be動詞+主語>の構文を理解し、文を組み立てる。また、注意すべき自動詞と他動詞を使い分けことができる。 ・時制：基本時制の構造と概念を理解し、伝えたいことを適切な時制を用いて伝えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 話すこと[やり取り]：テーマに基づいた内容について話し合うことができる。 書くこと：既習の文法表現を用いて、具体的な理由や根拠を基に書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 話すこと：自分の考えや意思を示したり、聞き取れなかったことや理解できなかったことを聞き直したりすることができる。 書くこと：自分の意見や考えなどを書いて表現することができる。	Lesson 2-1 ～ Lesson 3-2 (文型と動詞①② / 時制①②) ・Workbook Exercises 1で基礎力養成を図る。 ・教科書Try it out! 1, 2で理解度を確認する。 ・Workbook Exercises 2は宿題とし、試験前に範囲全てを答え合わせして提出させる。 ・進度に応じて、ペアワークや英作文演習等を実施する。 ・教科書Example Bankの例文で、各Lesson終了後に小テストを行う。 ・各学期に1～2回Interview Testを実施する。	○					【知識及び技能】 外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。外国語の技能（話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 場面・目的・状況等に応じて、日常的や社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。	○	○	○	7
	定期考査								○	○		1
	【知識及び技能】 ・完了形：現在・過去・未来の完了形の概念を理解し、それぞれの用法を区別することができる。 ・様々な助動詞の意味と用法を理解し、適切に使い分けて表現することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 話すこと[やり取り]：テーマに基づいた内容について話し合うことができる。 書くこと：既習の文法表現を用いて、具体的な理由や根拠を基に書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 話すこと：自分の考えや意思を示したり、聞き取れなかったことや理解できなかったことを聞き直したりすることができる。 書くこと：自分の意見や考えなどを書いて表現することができる。	Lesson 4-1 ～ Lesson 5-3 (完了形①② / 助動詞①②③) ・Workbook Exercises 1で基礎力養成を図る。 ・教科書Try it out! 1, 2で理解度を確認する。 ・Workbook Exercises 2は宿題とし、試験前に範囲全てを答え合わせして提出させる。 ・進度に応じて、ペアワークや英作文演習等を実施する。 ・教科書Example Bankの例文で、各Lesson終了後に小テストを行う。 ・各学期に1～2回Interview Testを実施する。		○				【知識及び技能】 外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。外国語の技能（話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 場面・目的・状況等に応じて、日常的や社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査								○	○		1
	【知識及び技能】 ・完了形：現在・過去・未来の完了形の概念を理解し、それぞれの用法を区別することができる。 ・様々な助動詞の意味と用法を理解し、適切に使い分けて表現することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 話すこと[やり取り]：テーマに基づいた内容について話し合うことができる。 書くこと：既習の文法表現を用いて、具体的な理由や根拠を基に書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 話すこと：自分の考えや意思を示したり、聞き取れなかったことや理解できなかったことを聞き直したりすることができる。 書くこと：自分の意見や考えなどを書いて表現することができる。	Lesson 4-1 ～ Lesson 5-3 (完了形①② / 助動詞①②③) ・Workbook Exercises 1で基礎力養成を図る。 ・教科書Try it out! 1, 2で理解度を確認する。 ・Workbook Exercises 2は宿題とし、試験前に範囲全てを答え合わせして提出させる。 ・進度に応じて、ペアワークや英作文演習等を実施する。 ・教科書Example Bankの例文で、各Lesson終了後に小テストを行う。 ・各学期に1～2回Interview Testを実施する。			○			【知識及び技能】 外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。外国語の技能（話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 場面・目的・状況等に応じて、日常的や社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。	○	○	○	8

2 学 期	【知識及び技能】 ・受動態を用いた様々な文の構造や意味を理解し、必要に応じて使い分け、適切に伝えることができる。 ・様々な不定詞の用法を学び、詳細な情報を伝えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 話すこと[やり取り]：テーマに基づいた内容について話し合うことができる。 書くこと：既習の文法表現を用いて、具体的な理由や根拠を基に書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 話すこと：自分の考えや意思を示したり、聞き取れなかったことや理解できなかったことを聞き直したりすることができる。 書くこと：自分の意見や考えなどを書いて表現することができる。	Lesson 6-1 ～ Lesson 7-3 (受動態①② / 不定詞①②③) ・Workbook Exercises 1で基礎力養成を図る。 ・教科書Try it out! 1, 2で理解度を確認する。 ・Workbook Exercises 2は宿題とし、試験前に範囲全てを答え合わせして提出させる。 ・進度に応じて、ペアワークや英作文演習等を実施する。 ・教科書Example Bankの例文で、各Lesson終了後に小テストを行う。 ・各学期に1～2回Interview Testを実施する。	○					【知識及び技能】 外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。外国語の技能（話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 場面・目的・状況等に応じて、日常的や社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査								○	○		1
	【知識及び技能】 ・動名詞の様々な用法を学び、動名詞句を用いた多様な文で伝えることができる。 ・名詞を修飾する分詞の用法や補語になる用法、また分詞構文や付帯状況を表す分詞を用いて表現することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 話すこと[やり取り]：テーマに基づいた内容について話し合うことができる。 書くこと：既習の文法表現を用いて、具体的な理由や根拠を基に書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 話すこと：自分の考えや意思を示したり、聞き取れなかったことや理解できなかったことを聞き直したりすることができる。 書くこと：自分の意見や考えなどを書いて表現することができる。	Lesson 8-1 ～ Lesson 10-2 (動名詞①② / 分詞①② / 関係詞①②) ・Workbook Exercises 1で基礎力養成を図る。 ・教科書Try it out! 1, 2で理解度を確認する。 ・Workbook Exercises 2は宿題とし、試験前に範囲全てを答え合わせして提出させる。 ・進度に応じて、ペアワークや英作文演習等を実施する。 ・教科書Example Bankの例文で、各Lesson終了後に小テストを行う。 ・各学期に1～2回Interview Testを実施する。					○	【知識及び技能】 外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。外国語の技能（話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 場面・目的・状況等に応じて、日常的や社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。	○	○	○	9
3 学 期	定期考査								○	○		1
	【知識及び技能】 ・関係詞を用いて複文を作り、語句を限定したり補足説明を加えたりする。また、複合関係詞を用いて譲歩の意味を表すことができる。 ・比較に関する様々な用法と表現を理解し、物事の状態を分かりやすく説明することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 話すこと[やり取り]：テーマに基づいた内容について話し合うことができる。 書くこと：既習の文法表現を用いて、具体的な理由や根拠を基に書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 話すこと：自分の考えや意思を示したり、聞き取れなかったことや理解できなかったことを聞き直したりすることができる。 書くこと：自分の意見や考えなどを書いて表現することができる。	Lesson 10-3 ～ Lesson 12-2 (関係詞③ / 比較① /) ・Workbook Exercises 1で基礎力養成を図る。 ・教科書Try it out! 1, 2で理解度を確認する。 ・Workbook Exercises 2は宿題とし、試験前に範囲全てを答え合わせして提出させる。 ・進度に応じて、ペアワークや英作文演習等を実施する。 ・教科書Example Bankの例文で、各Lesson終了後に小テストを行う。 ・各学期に1～2回Interview Testを実施する。					○	【知識及び技能】 外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。外国語の技能（話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 場面・目的・状況等に応じて、日常的や社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。	○	○	○	8
	【知識及び技能】 ・比較に関する様々な用法と表現を理解し、物事の状態を分かりやすく説明することができる。 ・仮定法を用いて、事実と違うことや実際には起こりえないことを述べることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 話すこと[やり取り]：テーマに基づいた内容について話し合うことができる。 書くこと：既習の文法表現を用いて、具体的な理由や根拠を基に書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 話すこと：自分の考えや意思を示したり、聞き取れなかったことや理解できなかったことを聞き直したりすることができる。 書くこと：自分の意見や考えなどを書いて表現することができる。	Lesson 10-3 ～ Lesson 12-2 (比較② / 仮定法①②) ・Workbook Exercises 1で基礎力養成を図る。 ・教科書Try it out! 1, 2で理解度を確認する。 ・Workbook Exercises 2は宿題とし、試験前に範囲全てを答え合わせして提出させる。 ・進度に応じて、ペアワークや英作文演習等を実施する。 ・教科書Example Bankの例文で、各Lesson終了後に小テストを行う。 ・各学期に1～2回Interview Testを実施する。					○	【知識及び技能】 外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。外国語の技能（話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 場面・目的・状況等に応じて、日常的や社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。	○	○	○	9
3 学 期	定期考査								○	○		1

合計
70

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科		外国語	科目 論理・表現Ⅱ
教科：外国語	科目：論理表現Ⅱ	単位数：2	単位
対象学年組：第 2 学年 1 組～	7 組		
使用教科書：（ Vision Quest English Logic and Expression Ⅱ・Vision Quest New English Grammar 24 ）			
教科 外国語	の目標：		

【知識及び技能】	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 論理・表現Ⅱ	の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
○日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合ったり、やり取りを通して必要な情報を得たりすることができる。 ○日常的な話題や社会的な話題について、必要な背景知識・語彙・表現を用いて自分の考えを述べる技能を身に付けることができる。 ○日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができる。	○日常的な話題や社会的な話題について、英語を聞いたり読んだりして得られた情報や考えなどを活用しながら、話したり書いたりして情報や自分自身の考えなどを適切に表現することができる。 ○学校外での生活や地域社会などの日常的な話題について、自分のことを伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。また、その内容について整理し、クラスで発表することができる。
【学びに向かう力、人間性等】	○自分の意見を、相手によりよく理解してもらるように、日常的な話題や社会的な話題について、自分の考えを理由とともに伝えたり、相手からの質問に答えたりしようと積極的に取り組むことができる。 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようと積極的に取り組むことができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			話すこと (やりとり)	話すこと (発表)	書くこと	聞 読					
1 学 期	【知識及び技能】 ・仮定法を用いて、事実と違うことや実際には起こりえないことを述べることができる。 ・文型と動詞：5つの文型と<There +beV+S>の構文を理解し、文を組み立てる。また、注意すべき自動詞と他動詞を使い分けことができる。 ・時制：基本時制の構造と概念を理解し、伝えたい事を適切な時制を用いて伝えることができる。 ・完了形：現在・過去・未来の完了形の概念を理解し、それぞれの用法を区別することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 話すこと[やり取り]：テーマに基づいた内容について話し合うことができる。 書くこと：既習の文法表現を用いて、具体的な理由や根拠を基に書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 話すこと：自分の考えや意思を示したり、聞き取れなかったことや理解できなかったことを聞き直したりすることができる。 書くこと：自分の意見や考えなどを書いて表現することができる。	・Lesson 12-1, 2 仮定法 ・Plus 1 文型・Lesson 4, 5 時制 ・Lesson 6, 7 完了形・Plus 2 時制と完了 Lesson 2 What school events do you have? Lesson 3 Who is the best Athlete? ①文法や言葉の働きを理解させる。 ②習得した文法表現を用いて、スピーキングやライティング活動に繋げる。 ③各レッスンのリスニングやリーディングを通して、概要や要点を読み取り、さらに理解を深める。 <学習形態> ・Exercises で基礎力養成を図る。 ・教科書Try it out! 1, 2 で理解度を確認する。 ・基本構文を自主学習させて、試験前に範囲全てを答え合わせして提出させる。 ・進度に応じて、ペアワークや英作文演習等を実施する。 ・構文テキストを利用して、各Lesson終了後に小テストを行う。 ・各学期に1～2回課題英作文を実施する。	○				【知識及び技能】 外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。外国語の技能（話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 場面・目的・状況等に応じて、日常的や社会的な話題について、情報や考えなどを外国語での確に理解したり適切に伝え合ったりしている。聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。	○	○	○	15
	定期考査							○	○		1
	【知識及び技能】 ・様々な助動詞の意味と用法を理解し、適切に使い分けて表現することができる。 ・受動態/助動詞/不定詞を用いた様々な文の構造や意味を理解し、必要に応じて使い分け、適切に伝えることができる。 ・様々な不定詞の用法を学び、詳細な情報を伝えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 話すこと[やり取り]：テーマに基づいた内容について話し合うことができる。 書くこと：既習の文法表現を用いて、具体的な理由や根拠を基に書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 話すこと：自分の考えや意思を示したり、聞き取れなかったことや理解できなかったことを聞き直したりすることができる。 書くこと：自分の意見や考えなどを書いて表現することができる。	・Lesson 8～10 助動詞・Plus 3 助動詞 ・Lesson 11 受動態・Plus 4 受動態 ・Lesson 12～14 不定詞・Plus 5 不定詞 ・Lesson 4 Is social media safe? ・Lesson 5 How does overusing energy affect us? ①文法や言葉の働きを理解させる。 ②習得した文法表現を用いて、スピーキングやライティング活動に繋げる。 ③各レッスンのリスニングやリーディングを通して、概要や要点を読み取り、さらに理解を深める。 <学習形態> ・Exercises で基礎力養成を図る。 ・教科書Try it out! 1, 2 で理解度を確認する。 ・基本構文を自主学習させて、試験前に範囲全てを答え合わせして提出させる。 ・進度に応じて、ペアワークや英作文演習等を実施する。 ・構文テキストを利用して、各Lesson終了後に小テストを行う。 ・各学期に1～2回課題英作文を実施する。	○				【知識及び技能】 外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。外国語の技能（話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 場面・目的・状況等に応じて、日常的や社会的な話題について、情報や考えなどを外国語での確に理解したり適切に伝え合ったりしている。聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査							○	○		1

2 学 期	【知識及び技能】 ・動名詞の様々な用法を学び、動名詞句を用いた多様な文で伝えることができる。 ・名詞を修飾する分詞の用法や補語になる用法、また分詞構文や付帯状況を表す分詞を用いて表現することができる。 ・関係詞を用いて複文を作り、語句を限定したり補足説明を加えたりする。また、複合関係詞を用いて譲歩の意味を表すことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 話すこと[やり取り]: テーマに基づいた内容について話し合うことができる。 書くこと: 既習の文法表現を用いて、具体的な理由や根拠を基に書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 話すこと: 自分の考えや意思を示したり、聞き取れなかったことや理解できなかったことを聞き直したりすることができる。 書くこと: 自分の意見や考えなどを書いて表現することができる。	・Lesson 15 動名詞・Plus 6 動名詞 ・Lesson 16～17 分詞・Plus 7 分詞 ・Lesson 18～20 関係詞・Plus 8 関係詞 ・Lesson 6 What are some differences? ・Lesson 7 Do all Japanese people need to speak English? ①文法や言葉の働きを理解させる。 ②習得した文法表現を用いて、スピーキングやライティング活動に繋げる。 ③各レッスンのリスニングやリーディングを通して、概要や要点を読み取り、さらに理解を深める。 ＜学習形態＞ ・Exercises で基礎力養成を図る。 ・教科書Try it out! 1, 2 で理解度を確認する。 ・基本構文を自主学習させて、試験前に範囲全てを答え合わせして提出させる。 ・進度に応じて、ペアワークや英作文演習等を実施する。 ・構文テキストを利用して、各Lesson終了後に小テストを行う。 ・各学期に1～2回課題英作文を実施する。							○	○	○	8		
	定期考査												1	
	【知識及び技能】 ・比較に関する様々な用法と表現を理解し、物事の状態を分かりやすく説明することができる。 ・仮定法を用いて、事実と違うことや実際には起こりえないことを述べることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 話すこと[やり取り]: テーマに基づいた内容について話し合うことができる。 書くこと: 既習の文法表現を用いて、具体的な理由や根拠を基に書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 話すこと: 自分の考えや意思を示したり、聞き取れなかったことや理解できなかったことを聞き直したりすることができる。 書くこと: 自分の意見や考えなどを書いて表現することができる。	・Lesson 21～22 比較・Plus 9 比較 ・Lesson 23～24 仮定法・Plus10 仮定法 ・Lesson 8 Is Japan open enough? ・Lesson 9 What if you were rich? ・Lesson 11 What is a healthy life? ①文法や言葉の働きを理解させる。 ②習得した文法表現を用いて、スピーキングやライティング活動に繋げる。 ③各レッスンのリスニングやリーディングを通して、概要や要点を読み取り、さらに理解を深める。 ＜学習形態＞ ・Exercises で基礎力養成を図る。 ・教科書Try it out! 1, 2 で理解度を確認する。 ・基本構文を自主学習させて、試験前に範囲全てを答え合わせして提出させる。 ・進度に応じて、ペアワークや英作文演習等を実施する。 ・構文テキストを利用して、各Lesson終了後に小テストを行う。 ・各学期に1～2回課題英作文を実施する。									○	○	○	9
														1

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 外国語 科目 論理・表現Ⅲ

教 科： 外国語 科 目： 論理・表現Ⅲ 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 7 組

教科担当者：

使用教科書：（FACTBOOK English Logic and Expression Ⅲ，UPGRADE 英文法・語法問題 完全演習，四訂版UPGRADE 英文法・語法問題）

教科 外国語 の目標：

- 【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 論理・表現Ⅲ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、基本的な語句や文を用いて、情報や考えなどを話して伝え合ったり、やり取りを通して必要な情報を得ることができる。 ・日常的な話題や社会的な話題について、必要な背景知識・語彙・表現を用いて自分の考えを述べる技能を身に付けることができる。 ・日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備において、基本的な語句や文を用いて、情報や考えなどを論理的構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができる。	・日常的な話題や社会的な話題について、英語を聞いたりと読みたりして得られた情報や考えなどを活用しながら、話したり書いたりして、情報や自分自身の考えなどを適切に表現できる。 ・学校外での生活や地域社会などの日常的な話題について、自分のことを伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。また、その内容を整理し、クラスで発表することができる。	・自分の意見を相手により理解してもらえるように、日常的な話題や社会的な話題について、自分の考えを理由とともに伝えたり、相手からの質問に答えたりしようと積極的に取り組むことができる。 ・他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたと読みたりして活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようと積極的に取り組むことができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 （「や」）	話 （「発」）	書					
1 学 期	A 単元 Lesson 1・Lesson 2 【知識及び技能】 英語表現の意味や文法事項の働きを理解し、適切に使えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えを詳しく伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 多様な語句や文を用いて、情報や自分の考え、気持ちなどを詳しく伝えようとしている。	【指導事項】 1. 題材の内容をQuestionsを通して理解させる。 2. Grammar for Speaking and Writingを通して、文法の基礎を復習し、定着させる。 3. 構文ノートを利用して、構文の基礎を定着させる。 【教材】 ・文法の実用問題は、UPGRADE参考書やUPGRADE標準問題集で学ばせる。 ・入試問題にも取り組ませる。				○	○	【知識及び技能】 英語表現の意味や文法事項の働きを理解し、適切に使えている 【思考力、判断力、表現力等】 多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えを詳しく伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 多様な語句や文を用いて、情報や自分の考え、気持ちなどを詳しく伝えようとしている。	○	○	○	12
	定期考査								○	○		1
	B 単元 Lesson 3・Lesson 4 【知識及び技能】 英語表現の意味や文法事項の働きを理解し、適切に使えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えを詳しく伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 多様な語句や文を用いて、情報や自分の考え、気持ちなどを詳しく伝えようとしている。	【指導事項】 1. 題材の内容をQuestionsを通して理解させる。 2. Grammar for Speaking and Writingを通して、文法の基礎を復習し、定着させる。 3. 構文ノートを利用して、構文の基礎を定着させる。 【教材】 ・文法の実用問題は、UPGRADE参考書やUPGRADE標準問題集で学ばせる。 ・入試問題にも取り組ませる。		○		○		【知識及び技能】 英語表現の意味や文法事項の働きを理解し、適切に使えている 【思考力、判断力、表現力等】 多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えを詳しく伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 多様な語句や文を用いて、情報や自分の考え、気持ちなどを詳しく伝えようとしている。	○	○	○	12
	定期考査								○	○		1
2 学 期	C 単元 Lesson 5・Lesson 6 【知識及び技能】 英語表現の意味や文法事項の働きを理解し、適切に使えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えを詳しく伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 多様な語句や文を用いて、情報や自分の考え、気持ちなどを詳しく伝えようとしている。	【指導事項】 1. 題材の内容をQuestionsを通して理解させる。 2. Grammar for Speaking and Writingを通して、文法の基礎を復習し、定着させる。 3. 構文ノートを利用して、構文の基礎を定着させる。 【教材】 ・文法の実用問題は、UPGRADE参考書やUPGRADE標準問題集で学ばせる。 ・入試問題にも取り組ませる。	○		○		○	【知識及び技能】 英語表現の意味や文法事項の働きを理解し、適切に使えている 【思考力、判断力、表現力等】 多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えを詳しく伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 多様な語句や文を用いて、情報や自分の考え、気持ちなどを詳しく伝えようとしている。	○	○	○	14
	定期考査								○	○		1
	D 単元 Lesson 7・Lesson 8 【知識及び技能】 英語表現の意味や文法事項の働きを理解し、適切に使えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えを詳しく伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 多様な語句や文を用いて、情報や自分の考え、気持ちなどを詳しく伝えようとしている。	【指導事項】 1. 題材の内容をQuestionsを通して理解させる。 2. Grammar for Speaking and Writingを通して、文法の基礎を復習し、定着させる。 3. 構文ノートを利用して、構文の基礎を定着させる。 【教材】 ・文法の実用問題は、UPGRADE参考書やUPGRADE標準問題集で学ばせる。 ・入試問題にも取り組ませる。	○	○		○		【知識及び技能】 英語表現の意味や文法事項の働きを理解し、適切に使えている 【思考力、判断力、表現力等】 多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えを詳しく伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 多様な語句や文を用いて、情報や自分の考え、気持ちなどを詳しく伝えようとしている。	○	○	○	15
	定期考査								○	○		1
	E 単元 Lesson 9・Lesson 10 【知識及び技能】	【指導事項】 1. 題材の内容をQuestionsを通して						【知識及び技能】 英語表現の意味や文法事項の働きを理解し、				

[illegible]